

神奈川県立藤沢支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	第1回神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会		
開催日時	令和8年6月11日（木曜日） 午前9時30分～11時15分		
開催場所	神奈川県立藤沢支援学校 清掃受注室		
出席者	運営協議会委員等9名（本校校長を含む） 事務局教職員10名		
次回開催予定日	令和8年11月10日（火） 開催予定		
問合せ先	所属名 藤沢支援学校 副校長 電 話 番号 0466-82-9413 ファックス番号 0466-83-3520		
下欄に掲載 するもの	議事録	議事概要とした 理由	
会議経過	1 開会 ・校長挨拶 ・委員自己紹介 （事務局の自己紹介） ・学校運営協議会運営要綱 ・令和8年度学校運営協議会のスケジュール等について 2 学校経営方針について ・学校教育計画(令和8年度)グランドデザイン 3 学校評価(学校評価部会) ・目標と具体的な方策等 4 地域と協働した取組(切れ目ない支援部会) ・今年度の重点的な取組等 5 協議 ○教員が足りないと言われているが、藤沢支援学校の現状はどうか。 → 職員の働き方は多様化している。短時間勤務等もあり、職員配置がままならない部分はある。現在配置されている職員で工夫してやっている。 ○働き方の多様化により、業務の公平化も話題になることがあるが、常勤職員の負担軽減のためにやっていることはあるか？ →水曜13:40下校によってできた時間で打ち合わせ(子どもについて話		

	す時間)が増え、心の負担は減らせていると思っている。 ○学校での活動について、何をやっているのか見えにくいと感じる。授業参観も少ない。このことは、学習指導についての学校評価が下ってしまう理由の1つではないか。 →保護者が来校するタイミング、面談だったり、登下校の送迎だったり、保護者と対話できるタイミングを逃さないことが大切である。丁寧な関わりを重ねることで同じ方向を見ていけるようになるのではないか。 ○昔と比べ、放課後等デイサービスなどを利用する児童生徒が増えて、保護者と学校が直接話す機会が減ってきている状況があるかもしれない。学校の取組が保護者に伝わるよう工夫が必要だが、それについては何か手立てがあるか。 →数日前の授業参観では、今まで見てもらっていないたてわりの授業を対象とした。授業後は、初めて連絡システム「すぐーる」を使いアンケートをとった。保護者からいただいた意見を今後の子どもとの関わりや授業改善にいかしていきたい。 ○学校から地域にお願いしたいことはあるか。 →通学の見守りボランティアが5名増え、そのうち3名は、給食下膳ボランティアの方。5名全員が地域(亀井野)の方である。 お願いしたい登下校の時間の全てを網羅できていないので、引き続き募集をしていく。15名まで登録可。あと8名くらいお願いできたらと思っている。 →見守りボランティアについては、自治会長と直接やりとりするか、センターにポスターを貼ることも可能。その場合、ポスター内の文字数が多いと見てもらえない。文字を少なく厳選し、メッセージが伝わりやすく工夫されたものが良い。また、センターを通して民生委員につなげることも可能である。 →市民センターにも掲示しているボランティア募集のチラシについて、サークルの方などに直接渡せないか。 →現在は窓口でのサークル登録ではなく、オンラインに代わっている。チラシはセンターの目にふれやすいところに置いている。 →登下校の時間に、地域を歩く姿をみることで、地域の方の理解や興味につながっている。 →ボランティア募集チラシを HP にのせてはいたが、学校はいまだに紙文
--	---

	化が残っている。チラシに QR コードのせるなど、電子化に力を入れるとよい。SNS でいかに興味を持ってもらえるかを考えるとよい。 「介助員」のワードは、その文字から受けるイメージを考えるとハードルが高い。「サポート」のように言葉のリフレーミングをしていくと若い人をとりこみやすいのではないかな。 小田急が人身事故で運転見合わせになったとき、実習生がきていた。実習生から「人身事故で電車がとまっています」と電話が入った。うまくいかないことも含め、状況に応じて、自分で考え、人を頼ったりして出社できた。今ある状況の中で、できる力を活用して取り組んでいくとよいのではないかな。あえてボランティアの数を増やさないという方法もあるかもしれない。 ○その他 →自治会の役員も担っている。自治会は高齢化が進み、加入している方の中で実働できる方が徐々に少なくなっている。しかし、子どもに関わることになるに関心強く、人が集まる。 学校からぜひ声をあげてほしい。 →当日のパワーポイントの説明と、事前配付の資料がどのように関連しているのか、明確にしてあるとわかりやすかった。 →小学部のトランディションエリアの実践、すばらしい取り組みだと思った。湘南ゆうき村では、8/6、7に強度行動障害の支援の研修を行う。教員の方々も受けやすい日程で組んだので、よかったらぜひ参加してほしい。 ○まとめ 近隣駐車場から歩いて登下校することで、地域の方に知っていただき、見守ってもらう機会が増えた。取組を続けることで、さらに地域に知ってもらえるよい機会となっていく。児童生徒にとっても大きな力となる。引き続き、藤沢支援学校の児童生徒の学びを支えるために協力していく。
会議資料	・神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会運営要綱 ・令和8年度 神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会委員名簿 ・令和8年度 神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会運営計画 ・令和7年度学校評価報告書（実施結果） ・グランドデザイン ・学校教育計画（令和6年度～令和9年度） ・令和8年度学校評価報告書（目標設定） ・令和8年度 学校案内 ・学校だより